

健康 コラム

お薬手帳について



秋田厚生医療センター 薬剤科 鈴木 康之
すずき やすゆき
薬剤主任

【お薬手帳とは】

お薬手帳とは、自分が使っている薬の名前・量・日数・使用方法などを記録できる手帳のことです。薬の内容以外にも、サプリメントや市販薬、副作用歴、アレルギーの有無、過去にかかった病気などの内容も書き込めるのがお薬手帳のメリットの一つです。

最近では、スマートフォンアプリなどによってお薬の内容を電子的に記録する「電子お薬手帳」も使われるようになっていきます。

【お薬手帳の歴史】

お薬手帳は、1993年の日本国内で患者15人が別々の病院から処方された抗ウイルス剤と抗癌剤を併用して死亡した「ソリブジン事件」をきっかけとして導入されました。

また、2年後の1995年に起こった「阪神・淡路大震災」において、お薬手帳があれば処方箋なしで薬を受け取ることができるとあり、災害においての備えの意味でも認知され、急速に普及するようになりしました。

さらに、2011年3月11日の「東日本大震災」においても、災害時においてのお薬手帳の必要性が再認識されました。

【お薬手帳の内容】

・処方内容(調剤日/調剤薬局名/

処方箋発行医療機関名/薬剤名/用量・用法/日数など)

- ・副作用歴
- ・アレルギー歴
- ・主な既往歴
- ・その他(自由に書き込み可)

【お薬手帳を使うメリット】

次のようなケースではお薬手帳を持っているとメリットが得られることがあります。

- ① 複数の医療機関にかかっている方
それぞれの医療機関から処方された薬の飲み合わせや、重複投与リスクの軽減につながります。
- ② 持病のある方
緊急時に、飲んでいる薬がすぐわかることで素早い対応ができます。
- ③ 例) 抗血栓薬などを飲んでいて血が止まらないなどといった場合の対応など

- ③ 過去にアレルギーや副作用を起した方
過去のアレルギーや副作用の確認をすることで、処方された薬で起こる問題はないかなど、確認できます。
- ④ 旅行や災害時
旅行や災害時に急に具合が悪くなった場合、自分のお薬の情報を正確に伝えることができます。

【お薬手帳をうまく使うポイント】

- ① 病院ごとや薬局ごとに別々の手帳を作らないようにしましょう!

飲んでいるすべての薬を「一冊」で記録することが大切になります。一冊で記録することで、飲み合わせや、重複投与のリスクを下げるすることができます。

- ② お薬手帳の情報は常に最新の状態でしておきましょう!

お薬の名前が変わっていても、量が変わっている時もあります。医療機関にかかる際には必ず持っていく、最新の状態でしておきましょう。古い情報のままだと信用性が落ちてしまいます。

- ③ 健康食品・サプリメント・市販薬の内容を書いておきましょう!

自分では何気なく飲んでいるものの中にも、薬と相性が良くない組み合わせが見つかることがあります。

- ④ 外出時は携帯したり、同じ場所に保管しましょう!

外出時に携帯していると緊急時に役立ちます。また、常に同じ場所に保管することで緊急時に家族に持ってきてもらうことができます。

【おまけ】

お薬手帳を活用することで、お薬を安全に使用できるようなり、安心して医療を受けられるようになります。